

NEWS-2

トルコで「アンタルヤ国際園芸博覧会」を開催中



華道家元池坊の「いけばな」デモンストレーションが行われ、多数の観客が集まった。



日本産の花き、花き文化を展示・紹介
トルコ地中海地方のリゾート都市アンタルヤで、4月23日から「花と子供達」をテーマに「アンタルヤ国際園芸博覧会」が開催されています。農林水産省は、花き産業関係団体をはじめとする園芸関係者や関係省庁と連携して、日本産花きやいけばななど日本の花文化を出展し、パフォーマンスやコンテストでも高い評価を獲得しています。開催期間は10月30日まで。詳細はWEBページ (expo2016.jp) をご覧ください。

右／和室にフラワーアレンジメントをしつらえて。
左／屋内展示統括プロデューサーの村松文彦氏によるフラワーアレンジメントの展示。

NEWS-3

農業を始める人を応援する「新農業人フェア」

「いつかは農業を始めたい」「就職・転職先として農業を考えたい」「農業に興味があるが何から始めたらいいかわからない」という方に向けて、「新農業人フェア」が開催されます。

イベントは農業の情報が豊富で、独立に向けた道筋や就職・転職先も見つけられる内容です。全国各地の情報が集められるので、参加者は比較検討がしやすく、農業関係者からの具体的な話を直接聞くこともできます。農業法人や自治体ごとのブースがあり、興味のあるブースに自由に着席し、相談するスタイル。そのほか、新卒学生や女性専用の相談コーナー、会場内のガイドツアーなどもあります。

大阪をはじめとして、東京、仙台、広島、名古屋、福岡、札幌の7カ所で開催します。



農業を学ぶセミナーコーナー。就農までの道のりなどを講演。



異業種から農業に転職した安藤寿人さん(40歳)。新聞記者から自然農園経営者に。夫婦で農業に従事。

NEWS-1

「農林水産業の輸出力強化戦略」を発表



上・右／平成27年イギリスでの品目別輸出団体による日本農林水産物・食品PRイベントのレセプション。



上／香港最大級の国際総合食品見本市「FOOD EXPO 2015」。ジャパンパビリオンを設置し、各国のバイヤーと商談。



左／平成27年8月イオン香港コーンヒル内に設置したインスタショップ。



日本食・食文化の魅力を世界に発信し、質の高い日本の農林水産物・食品の輸出拡大を目指す。

◎問い合わせ先

戦略の詳細は、内閣官房WEBページをご覧ください。

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/nousui/yushutsuryoku.html>

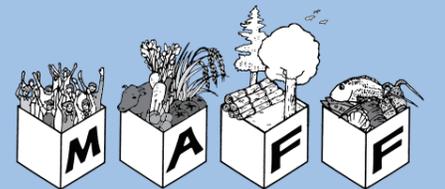
◎農林水産物・食品の輸出に関する問い合わせ先

【農林水産省】輸出相談窓口 ☎03-6744-7155

【日本貿易振興機構 (JETRO)】

農林水産物・食品輸出相談窓口 ☎03-3582-5646

※各地域の農政局・JETROの地方事務所にも問い合わせ可能です。



TOPICS

MAFFとは農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です。「MAFF TOPICS」では、農林水産省からの最新ニュースなどを中心に、暮らしに役立つさまざまな情報をお届けいたします。

取材・文／細川潤子

民間の意欲的な取り組みを政府が全力で支援

平成27年の農林水産物・食品の輸出実績は、過去最高の7451億円を達成しました。高品質な日本産品の輸出をさらに発展させるため、政府は「農林水産業の輸出力強化戦略」をまとめました。国内の食市場が縮小する中で、世界の食市場は拡大しています。輸出は農林水産物・食品の販路拡

大につながる重要な手段。政府は輸出の主役である農林漁業者、食品事業者の方々に支援するともに、民間では対応できない外国の規制などの対応に取り組めます。この戦略を実行することで、輸出額を平成32年に1兆円にする目標の向上を目指します。また、所得の向上、新しい担い手の参入による創意工夫にあふれた経営の実践など、農林水産業の成長産業化を確かなものとしていきます。

戦略の主な内容

意欲ある民間事業者をサポート

- ▶市場を知る、市場を耕す。(ニーズの把握・需要の掘り起し)
- ▶農林漁業者や食品事業者を、海外につなぐ。(販路開拓、供給面の対応)
- ▶生産物を海外に運ぶ、海外で売る。(物流)
- ▶輸出の手間を省く、障壁を下げる。(輸出環境の整備)
- ▶戦略を確実に実行する。(推進体制)

輸出力の強化に向けて

- ▶国・地域別の輸出拡大戦略 (21の国・地域)
- ▶品目別の対応方向 (米、青果物、花き、茶、畜産物、水産物、加工食品、アルコール飲料、林産物)